



特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

総会議案書



「市民共同発電所のための保守点検研修会」の様（千葉県木更津市）

2017 年通常総会

[第 12 期 : 2016 年 6 月 1 日 ~ 2017 年 5 月 31 日]

2017 年 7 月 30 日（日） 13 : 30 ~

八口一貸会議室茅場町

目次

はじめに	P. 3
1号議案 2016年度活動報告	P. 5
(1) 大方針	P. 5
(2) 活動面での重点活動	P. 5
(3) 組織運営面での重点活動	P. 6
(4) 全体活動一覧	P. 7
(5) 2016年度各地域交流会活動報告	P. 8
(6) 2016年度各専門部会活動報告	P. 15
2号議案 2016年度決算報告	P. 17
収支計算書	P. 17
貸借対照表	P. 18
財産目録（資産）	P. 19
財産目録（負債）	P. 20
監査報告	P. 21
3号議案 2017年度活動方針および活動計画（案）	P. 22
(1) 2017年度活動方針	P. 22
(2) 活動面での重点目標	P. 24
(3) 組織運営面での重点目標	P. 23
(4) 2017年度各地域交流会活動方針および活動計画	P. 24
(5) 2017年度各専門部会活動方針および活動計画	P. 32
4号議案 2017年度予算（案）（別紙）	
5号議案 定款改訂（案）	P. 34
6号議案 役員改選（案）	P. 35

はじめに

FIT 法導入と PV-Net の役割

2011年3月11日の東日本大震災・福島原発事故に直面し、日本のエネルギー政策の転換が叫ばれたことで、2012年7月、FIT制度が導入されました。この制度を導入する過程、PV-Netは国の諮問委員会（2010年）にて「節度のあるFIT制度の導入を」と強く主張しました。それはFITが普及効果と裏腹に「過度な利潤投機」に陥りやすい制度であり、無防備に実施すると、自然や社会生活の破壊をもたらすことが予見されたからです。すでに欧州などでは、「ブドウ畑論争」が持ち上がっていました。このような懸念を広く伝え、投機に陥らない事前措置の必要性を主張したのは、国・産業界だけでなくNGO／NPOの世界でも、PV-Net以外にありませんでした。

3年間の高優遇買取価格の措置に促されるように、再生可能エネルギーの導入は急激に進み、なかでも太陽光発電（以下PV）は驚異的な普及となりました。しかし熱に浮かされたようなPV独り勝ちの裏では、PV-Netが懸念し、指摘し続けてきた「ブドウ畑論争」が全国各地で起きる結果となっています。真にグリーンで、環境共生なPVシステムの普及にはこの論争を避けて通ることはできません。他に先んじてPVのよさを直感し、身銭を切って自宅の屋根に設置した会員全員で、真剣に取り組むべき課題です。

PV-Net が果たしてきた役割

2016年4月から電力全面自由化がスタートし、今年の4月には改正FIT法が施行されました。遅きに失した感があるなかで、PV-Netが懸念し、事前措置の必要性を唱えた一部が取り組まれようとしています。改正FIT法で特に強調されているのが、再エネ発電事業者として事業計画立案を通じた運用・保守・廃棄の安全安心な遂行と責任です。これはメガソーラーで実際に起きている風害・水害・地震害・火災事故などの事象に対する措置です。東日本大震災や熊本地震においてPV-Netが行ってきたPVの被災調査が、こうした方向で大きな役割を果たしています。安定的な運用が求められるという意味では、住宅用太陽光発電も例外ではありません。

2019年問題とプロシューマーの役割

電気の消費者（コンシューマー）だけでなく、自宅の屋根にPVを設置した発電事業者（プロデューサー）の両面を持つ発電消費者（プロシューマー）の活動が注目され、これからの地域社会の有り様を切り開く役割も求められています。

さらにプロシューマーとして期待されているのが「2019年問題」です。FIT制度に先行して2009年からスタートした余剰電力買取制度ですが、その買取期間が終了し始めるのが2019年。電力会社に買取義務がなくなり、電力市場価格を目安に売買価格が決められる方向ですが、「買取なし」ということも十分考えられます。2019年には売電収入（平均7～8万円）が半減するPV設置住宅が約45万軒出現し、毎年20万戸程度がその後続きます。

すでに始まっているエネルギー（電力・ガス）の自由化や、これから本格化する発送電分離などと合わせて、エネルギーを中心とした社会のあり方が大きく変わり、プロシューマーの役割もそれに伴って大きく変化する時代に突入しました。

また、地球温暖化防止のための国際条約「パリ協定」の発効は、グローバル化された世界において、環境・エネルギーNPOとして、地球市民として、その取り組みが求められています。

さらには今年、原発再稼働や再エネ普及目標の道筋をつける「エネルギー基本計画の見直し」が行われます。無関心は、託送料金に原発事故処理費を上乗せするという理不尽な暴挙の元凶となって現れるものです。プロシューマーとしての

PV-Net の意見・提言を会員から集める、発信していくべきとの声が強多く寄せられており、これまで以上に果たしていきたいと思います。

PV-Net の進むべき道・新たな役割

現在、PV を取り巻く話題やトピックとして、「ポスト FIT」「蓄電機能の活用」「電気自動車（EV）併用」「オフグリッド」「ネガワット取引」「仮想発電所（VPP）」など、多くのものが出現してきます。

そんななかで PV-Net の活動として取り組もうとしているのが、

- ・ PV のリユース・リサイクル・廃棄
- ・ PV の安全性（モジュール単位でのラピッドシャットダウンなど）の検証
- ・ PV と自然および都市生活における共生・共生的スマートグリッド
- ・ PV とその他の再エネ（特に熱、小水力）の複合的取組
- ・ 広義のソーラーシェアリング（太陽の共有）の開拓

などです。

創立から 15 年目を迎えた課題として、会員の高齢化や全国組織の利点活用不足、貴重な会員情報のセキュリティを含めた管理と応用、協働活用の未達などを克服する必要があります。具体的には

- ・ 自立的組織運営・運動の継承とそのための人材確保
- ・ 自立性を損なわない安定した財政の確立
- ・ 既存事業（PV-Green など）の時代に合わせた新展開
- ・ 新規事業の開拓と定着

これらの課題を克服するためにインターネットや人工知能（AI）や外部専門機関（家）等の最大限の活用・協力を行います。

いま一度、私たちプロシューマーの近未来を想像してください。

PV プロシューマーがとなり同士で電気を融通し合い、マンションやテナントビルのオーナーが住人にエネルギーを供給することはすでに実現可能な段階に来ています。家庭では、電気や熱の消費者が自分たちのエネルギーネットワークの管理者となり、「モノのインターネット（IoT）」を通じて、他の市場プレイヤーとつながります。プロシューマーの台頭は、市民の投資を市民共同太陽光発電などへの投入を促し、蓄電システムの導入もすでに実行に移されつつあります。系統に優しい自家発電・自家消費、テナントモデル、EV を含めた家庭内の効率的なエネルギーマネジメントを促進するなど、プロシューマーはエネルギー市場を強化していると言えるでしょう。これは市場の集中とエネルギーの寡占状態を打破し、卸市場の価格を引き下げる力となります。「古いエネルギーの世界」に圧力をかけ、変えるのです。プロシューマーとしての目覚めと共に、PV-Net の新たな役割を意識し、会員のみなさんとともに歩んでいきたいと思っています。

2017 年 7 月 1 日

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

共同代表理事 藤井石根 / 都筑 建

1号議案 2016年度活動報告

(1) 大方針

電力自由化および 2019 年問題への取り組みを通し、市民目線での太陽光発電の健全な発展と普及に寄与する

国内における「太陽光発電の健全な発展と普及」が大きな焦点になった年でした。テレビなどで映し出された、災害地における太陽光発電パネルの飛散・崩壊風景は、強い危機感を世の中に生むと同時に、私たちに太陽光発電が抱える技術的・社会的な問題を改めて認識することとなりました。これらの問題の実態を評論家的に語るのではなく、市民の立場・目線で熊本地震の激震地に入り、太陽光発電の被災状況と安全性、問題点について調査・提言する活動をこの1年間を通じて行ってきました。また住宅の屋根の太陽光発電が、バイパスダイオード（BPD）の不具合で高温化し、火災の危険性がある点も、会員のシステムを中心に調査し、大きな危険性があることを突き止めました。これまで積み上げてきた PV-Net の活動が太陽光発電の健全な普及への寄与する結果となっています。

FIT 制度は再エネの大きな普及に寄与しましたが、同時に弊害ももたらしています。広大な自然林伐採などによる自然破壊や、光害をもたらすメガソーラーへの相談が PV-Net にも寄せられ、その対処にも追われました。

さらには、これまでの硬直したエネルギー体制が、2016年4月からの電力全面自由化で大きく様変わりをはじめ、多くの人たちの関心を集めました。市民に寄り添う、見せ掛けだけでない「本物の」新電力をサポートし、普及させる事業を積極的に具体化した1年でもあります。

財政的な改善や会員拡大にも努力してきましたが、前進に向かっているとはいえまだまだ不十分な状況です。

地域活動にもばらつきがありますが、それぞれ方針に沿ったものや独自の観点を加味したものなど全国的な活動が実施されていることは、他に類を見ない実績を積み上げているといえます。地域社会を変える働きかけとなっています。

(2) 活動面での重点活動

エネルギーというテーマを通して会員一人ひとりが、プロシューマー（生産者であり消費者）としての自覚に目覚め、PV-Net への活動へ参画していただくため、各種の情報提供や活動、講座開設を目指してきました。また、その一環として保守メンテナンス活動や 2019 年問題に対する取り組みを表明した1年となりました。

1. プロシューマーを育成する活動

昨年はプロシューマーを育成する取組みとして、9つのテーマを掲げ、活動してきました。

①**地域交流会の組織基盤サポート** では、組織部を中心に東側は地域交流会の活動サポート、大阪以西では太陽光発電連続研修会に取り組み、当初の目標を遂行してきました。イベント、講座開催では、②**大集合イベントの開催** ③**野田村における自然エネルギー学校の開催** ④**各地域における独立型PV講座の開催** など多様な講座を提供し、多く会員一般の方にご参加いただきました。

グリーン電力の拡大に関する取組みである ⑤**FIT電気への切り替え促進活動** では、みんな電力、じぶん電力という新電力と共同事業を始めました。本格的な切り替え活動は次年度から始動します。継続事業となる ⑥**市民共同発電所建設** では、静岡県伊豆の国市田中山に、オーナー制の太陽光発電所を設置し、売電を開始するなど、市民が直接関わりを持って

るグリーンエネルギーの拡大に貢献できました。またパネルオーナー制の仕組みは多くの共感をいただき、サポートを希望する団体も出てきました。⑦市民発電所設置サポート活動 につながる動きとなっています。新規事業として取り組みを検討していた⑧個人住宅のCO₂排出権取引事業 については、検討の結果、時期尚早との結論により事業化には至りませんでした。継続事業となっている⑨PV-Greenの販売活動 は電力自由化の影響により新たな顧客が開拓され、次年度以降の成果が期待されます。

2. 保守・メンテナンスに関する活動

最重要課題として掲げた①PV カルテの充実・発電量登録キャンペーン は、NEDO のバイパスダイオード故障調査と連携し、カルテ登録率の向上につなげました。②相談情報コンテンツの発信 は実施できませんでしたが、事例の収集・コンテンツづくりに着手し、次年度も継続の活動となります。③リユース、リサイクル事業 では、年間で4件の事例に取り組み、モデルづくりが始まっています。NEDO 事業の④熊本地震被災 PV 調査 では3度現地入りし、災害時におけるPVの安全性について調査を行い、東京・熊本で報告会を開催。⑤BPD 故障調査 では会員宅を含む152システムの調査を実施しました。

3. 2019年問題に対応するための活動

2019年問題に対応するために、大きなお金をかけずとも、蓄電型で電力を利用できる方法をさまざまな方式で検討しています。その初期段階として、独立型PVの組立て講座を各地域で開催し、好評を博しました。今後も、リユースパネルやリユースバッテリーの利用と併せて発展させていきます。

(3) 組織運営面での重点活動

1. 財政基盤の強化

財政基盤の強化策として、賛助会員・寄付・助成金、それぞれの獲得を目標に掲げてきました。寄付については、会員のみならずへの寄付の呼び掛けに加え、一般の皆さんが気軽に参加できる寄付手段を開拓し、受け入れ窓口を広げてきました。間口を広げる一方で、継続的に大型の寄付金を獲得できる様な活動をしていくことが課題となっています。賛助会員・助成金の獲得については思うような成果が上がらず、次年度も引き続き活動していきます。また、財政強化を掲げ、昨年から本格始動した事業化検討委員会で、新電力との事業成果を得ることができ、基盤強化に大きく寄与する結果となりました。

2. 理事会と地域連携

組織部と共同で地域代表者会議を、秋と春の2回開催し、センターと地域・地域間での連携・情報交流強化を図ることができました。PV-Net 全体活動の最新情報の伝達・意見交換、地域からの要望・提案、地域間の成功事例の水平展開などが実現しました。一方で関西地域の代表者を巻き込んでいくこと、地域管理ページの運用は、資金不足が重なり、前へ進めることができませんでした。次年度以降の継続課題となります。

3. 理事会と地域連携

会計改善については、事務局メンバーの情報処理能力の向上を図り、作業効率がアップしました。次年度は認定NPOの本認定取得に向けて、勘定科目の見直し・整理を実施していきます。

(4) 全体活動一覧

主な取り組み・イベント

- 2016年6月 平成28年熊本地震に係るPV被災調査 / 第11回再生可能エネルギー世界展示会
 7月 野田村自然エネルギー学校2016・夏
 8月 専修大学インターン生受け入れ
 10月 地域代表者会議
 11月 産総研・福島再生可能エネルギー研究所見学会
 12月 平成28年熊本地震PV被災調査中間報告会
- 2017年3月 熊本地震PV被災調査報告会 in 東京 / 地域代表者会議
 4月 でんきの森発電所完成お披露目式 / 太陽光発電所長大集合イベント2017

助成事業、受託事業

葛飾区グリーン電力証書化事業（東京都葛飾区【継続案件】）、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）「太陽光発電システム効率向上・維持管理技術開発プロジェクト/太陽光発電システムの安全確保のための実証」、平成29年度「新エネルギー等の導入促進のための広報等事業（地方公共団体を中心とした地域の再生可能エネルギー推進事業〔太陽光発電〕）」

各種委員等

太陽光発電システム標準化総合委員会委員、K-RIP（九州環境エネルギー産業推進機構）アドバイザー、地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業等審査会委員、「エナジー・ストレージ・サミット・ジャパン」パートナー協会

メディア出演、掲載

- ・ 環境ビジネスオンライン 『熊本地震で太陽光発電システムはどれくらい被災した？ 調査報告会が開催』
- ・ 日経テクノロジーオンライン 『熊本地震における住宅太陽光の被災状況、PV-Net が東京で報告会』
- ・ PVeye2月号 『太陽光めぐり 大丸山』
- ・ nikkei BPnet 『メガソーラービジネス 太陽光発電所ネットワーク 第1回～第7回』
- ・ エネクトニュース/エキサイトニュース 『【緊急開催】熊本地震における太陽光発電設備の被災調査の報告会 in 東京』
- ・ 埼玉新聞 『太陽の恵み生活に 保育園に発電パネル設置 熊谷』
- ・ エネクトニュース/エキサイトニュース 『FIT 終了後の展望に関するイベント開催、太陽光発電所の所長が大集合』
- ・ エネルギーフォーラム4月号 『熊本地震の現地調査で分かった住宅用PV被害の実態』
- ・ 朝日新聞 『（環コラム）住宅用太陽光発電の2年後を描く』
- ・ PVeye5月号 『住宅用太陽光は不具合3割超 メンテフリーは安全神話』
- ・ 朝日新聞 『（てんでんこ）マイ電力：8 だらすこ』
- ・ エネクトニュース/エキサイトニュース 『災害に強く地域に貢献する自然エネルギーを学ぶ！ 岩手県野田村で寺子屋開催』

(5) 2016 年度各地域交流会活動報告

行政や公的機関からの受託事業の獲得、共同発電所の建設およびサポート、講習会の開催などを地域が担うことが増えてきました。継続的な活動を続けるために必要となる資金を、活動から得ていくという方向転換が着実に進んでいます。

東北 6 県地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	東北 6 県地域交流会の自立	<ul style="list-style-type: none"> 各県別交流会開催 (各県訪問で代替可) 地域特性の把握 会員要求事項の把握 	—	山形 6/30	郡山 11/11	宮城 3/10	秋田・青森 —	秋田、青森の2県で未実施	△	山形、福島交流会では、会員増などの成果があったが、宮城では入会はなかった。会員の居住地域近くで交流会の開催など、各地域で核となる方とのつながりが課題
2	東北 6 県地域交流会活動支援型市民共同発電所の建設	<ul style="list-style-type: none"> ID 済み～資金調達 建設準備～建設 売電開始～点灯式 	出資者 30 名 獲得			東北電力 接続契約 (2月予定、 24円)	設計 材料手配 施工(6月～)	4月に21円で契約(24円での契約ができません)設計まで	△	11kW・1基を2017年度で実施の準備までできたが、材料発注および資金計画が未定
3	PV カルテの登録、発電量記録の呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> PV-Net 熱狂的ファン作り 会員としての目覚め 東北 6 県ネットワークづくり メールでのつながりづくり 	カルテ登録率 10%増	通年				—	▲	自身の発電所は入力したが、他の発電所の入力は把握できず。入力状況の把握方法など含め PV 健康診断のしくみを理解して全員に使い方を知らせる必要がある
4	『まちエネ大学』一関参加呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> 会員の可能性の拡大 会員相互交流 学習会の開催 	新規会員 5名/年の獲得	盛理説明会 6/27 広報 7/11 探訪通知 8/17	募集開始 9月 第1回 10/25 第2回 11/15	第3回 12/13 第4回 2/7	第5回 3/7 (終了後は自主講座を予定)	新規入会 6名 (山形 2、福島 2、岩手 2)	◎	まちエネ大学での会員増は6名中1名。4名は各地域交流会での入会。1名は個別勧誘。各県ごとのテーマ設定が課題

茨城地域交流会

No.	2016 年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	電力小売自由化セミナーの開催	前回の実績をもとに回を重ねる	—			1/28		参加 9名	○	同時開催の宿泊懇親会のもの、1名入会
2	市民共同発電所の建設	建設予定地： 鉾田市白塚	—	8/28 現地調査		1/29 現地打ち合わせ		参加 8名	○	
3	PV カルテの登録、発電量記録の呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> 地域会員の結束強化 普及啓発に係る活動費の確保 	カルテ登録率 昨年比 10%増	通年					△	システム等につき事務局へ提案
4	事務局関係	方針の共有	—	9/9 事務局 懇談	11/6 世話人会に 事務局参加	3/12 地域 代表者会議 4/29 大集 合イベント		行事参加	○	状況の相互理解
5	静岡地域会との連携	静岡会の活動に学ぶ (懸念処理(パネル処理*))	—	6/25* 7/23 8/28*	9/4 11/6	12/10 2/26	4/29	世話人会に 静岡会員が 参加	○	たまり場づくり その他地域との交流も目指す
6	世話会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 地域の結束強化 地域活動の活性化 	12 回開催/年	6/25 7/23	10/8 11/6	12/10 2/26	3/18 4/29	定例化	○	今後は世話人の固定が課題

【年間評価】◎：目標を達成（達成率 120%以上） ○：目標を達成（達成率 100%以上） △：目標未達（達成に向け改善可） ▲：目標未達（改善不可） ×：実施されず

群馬地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	世話人会の開催	地域の結束強化 地域活動の活性化	2回 /年	通年				3回	◎	12月を初回とし、2ヵ月1回の定期開催をすることができた
2	WEB活用による世話人情報共有ネットワークの確立	地域の結束強化	12回 /年	通年				6回	△	世話人会開催に伴う協議事項の確認および、センターからの情報共有など、同報メールにより共有化が図られた
3	世話人の学習機会の保証	地域活動の活性化	2回 /年			12/19	2/11 4/30	3回	◎	世話人会において、世話人を講師とするミニ講座を開催した

埼玉地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	埼玉地域フォーラム 「余剰電力買取制度終了後の買い置き者のあり方」	10年の買い取り期間終了後の設備の活用をどうするかを考える			2/18			参加者 50名	◎	
2	NEWS (埼玉地域広報) 刊行	・ 発電量の近隣比較の広報とPV健康診断への入力促進 ・ イベント等を地域会員に知らせ、参加につなげる	—	2ヵ月ごと				9月から開始し、翌年5月までに5回、埼玉会員へメールで送付	◎	
3	独立型PV組立講座 ワークショップ	・ 太陽光発電の普及・啓発 ・ 地域活動費の調達	—	8/27		2/12		組立参加6名 見学参加3名	◎	
4	見学会 「早稲田大学本庄キャンパス・スマートコミュニティ向け蓄電システム&本庄ロタワウン」	会員の親睦	—	6/11				参加者 40名	◎	
5	イベント出展 (県、市町村、企業) ①イオン大宮店 ②環境フォーラムかわち ③SAITAMA環境フェア&子どもエコフェスティバル ④熊谷市産業祭 ⑤自然エネルギー体験コーナー (吉川ばさ保護園) ⑥和光市民まつり	省エネ、CO ₂ 削減、温暖化防止をPR ※内容は手回し発電機やソーラーグッズ等で省エネ、再生エネなどを体験		①11/27 ②12/17 ③11/26 ④11/21,21 ⑤11/17 ⑥11/12				—	◎	
6	その他 ①市民共同発電所の設置 ②バイパスダイオード故障調査 ③PVパネルのリサイクル	①太陽光発電の普及・啓発、今後5年間の埼玉地域の活動資金調達 ②会員とのコミュニケーション機会の増大、会員システムの不具合調査、NEDO委託事業への協力 ③会員の屋根から降ろしたパネルの再利用のリサーチ				①10月～3月 ②10月～5月 ③1/22,4/4	①熊谷市・ほしのみや保育園に完成 ②会員39軒42システムの調査 ③2件のパネル撤去をサポート	◎	③10年稼働のパネルは、カンボジアの小学校で独立型の発電装置として使用予定。20年稼働のパネルについては、産総研での研究素材。	
7	世話人会の開催	・ 定例開催 (第1土曜) ・ 合宿						世話人の親睦をはかった	◎	群馬会員案内による施設見学等を実施 (発電所不具合調査、エコレッジ見学、ソーラークッカー見学)

【年間評価】◎：目標を達成 (達成率 120%以上) ○：目標を達成 (達成率 100%以上) △：目標未達 (達成に向け改善可) ▲：目標未達 (改善不可) ×：実施されず

千葉地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	かまがやエネルギーフォーラムの開催 (年1回)	・ 地元団体との協働 ・ 最新情報の発信	1回開催/年	11/13				打ち合わせ8回	◎	鎌ヶ谷市環境保全課、Renet Chibaと情報共有
2	世話人会の開催	・ 情報交換/共有 ・ 地域活動の活性化	12回開催/年	通年				11回開催	◎	世話人会後に交流会を開催し、千葉会員がのべ19名参加。うち世話人1名が新規加入
3	自然エネルギーを広めるネットワークちば定例会参加	・ 情報交換/共有 ・ 他団体との連携	フォーラムでの連携	通年				11回参加	○	かまがやエネルギーフォーラムチラシを3,200枚配布協力 (ハルシシステム千葉)
4	市民エネルギーちば合同会社への協力	・ ソーラーシェアリング発電所発電量を分析 ・ 委託費収入	—	通年				毎月、年間トータル	○	固定型と可変型 (スマートターン) の能力を比較。発電量の妥当性を分析
5	イベント出展 (他団体との連携)	・ PV-NetのPR ・ PV無料相談	4回出展/年	6/12	9/22 10/9		5/21	4回出展	○	PV-NetをPRできた
6	職業能力開発促進センターへ講師派遣	・ 講師料収入の獲得	4回派遣 (のべ8日間)				3/23,24 5/20,27	講師派遣2回	○	講師料収入として10万円余を獲得

東京地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	市民共同発電支援	都内市民団体の市民発電所設置とエネシブ啓発	1施設の支援			みたかアタック支援		0基 0人	×	設置場所探しのブッシュ、フォローが不足
2	再エネ電気普及	再エネ電気へスイッチする人の拡大とエネシブ啓発	新電力からの賞電者を獲得する	<ul style="list-style-type: none"> 「電力自由化入門講座」の講師派遣・自主開催 (むさしの、みたか、ごさいら、東大和) 新電力との提携 → 小売代理業 				講座21回 参加者250人	○	事業化が遅れ、小売代理事業は開始できず。啓発については一定の成果があった
3	住宅ソーラー普及事業	ソーラー設置者を増やし、会員も増やす	事業の立ち上げ				準備中	—	—	—
4	ペランダ発電工作教室	再エネとの身近な接点の提供とエネシブ啓発	4回/年	武蔵野、小平、日野の市民団体主催で実施				4回開催。 工作28人 見学20人	○	地域の市民発電団体の定番企画として定着。交流会の財政に貢献。検討課題=購入者フォロー
5	イベント出展	自治体等の環境イベントに出展し、再エネ啓発	地球温暖化の危機を認識させる(アンケートで評価)	エコライフフェア	小平環境むさしの		アースデイ西東京		△	獲得目標、位置づかが今ひとつ不明確
6	地域で進めるCO ₂ 削減事業	「ふつうの人」にアプローチし、啓発し、組織化する	100人組織化 (~2017)				むさしの省エネキャンペーン	—	—	(夏に向け実施準備中 協力:むさしの市民エネルギー)
<p>★ どのようにして最終目標に到達するのか、プロセス全体 (複数のステップ) の設計図=戦略を描き、共有することが、まず必要では。それに沿って、「1つ先のステップ」の成果目標と、そこに至るための活動や事業を具体化。</p>										

神奈川地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間 評価	活動によってあげた成果や 目標に対する評価、課題、 今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	フォーラム神奈川2017の開催	2019年、FITが終了した後、転機を迎える太陽光発電設備を今後どうするか	年1回				3/4	参加者50名 (会員減少)	◎	テーマが「エネルギーの完全自給自足を目指す！」会員はまだ理解していない。引き続き認識を喚起していきたい
2	広報誌「PV神奈川」を毎月発行し配布	ニューズレターとして、会員へ時の話題や、毎月の発電量の近隣比較の情報などを提供して、情報の共有を図る	12回/年	第17号～19号	第18号～20号	第19号～21号	第22号～24号	2年間継続中	◎	毎月執筆者を決めて、継続発行するのは負担だが、継続が大切。他でも参考にできる地域が出てきた
3	ワークショップ「出前発電所を作ろう！」の開催	会員、一般の希望者を募集して開催	年数回						◎	HPを見て、一般の方の希望者が跡を絶たない。一方で、材料の調達に苦労している
4	青少年のための科学の祭典、子どもサイエンスフェスティバル大和大会・藤沢大会に出展	青少年への環境教育	1回/年	8/9 神奈川青少年センター		2/11 藤沢教育センター			◎	地球温暖化防止のパネル展示や、太陽光発電の普及などを掲げても、子どもたちはゲームに走り、環境教育の難しさを感じる
5	見学会の開催	最新の施設設備などを見学	原則年1回	10/6(当初9/8の予定だったが、台風による延期の末、実施)				年1回実施	◎	東工大・EEI棟を見学。参加者の満足度は高かった
6	地域のイベントに出展	地域恒例のイベントに協賛出展	各1回	横浜開港祭(6/1,2)、ひらつか環境フェア(7/23,24)、まなぶん祭り(11/28,29)					◎	財政難から、出展料が必要なイベントには参加しない
7	市内・地区イベントに参加	近隣グループの活動	—	地域の祭り、夏休み、エコスクールなど					○	地区センターで行うが、夏休みは参加者が少ない
8	世話人会の開催	地域交流会活動の企画、実施計画立案	毎月開催	原則毎月1回開催、理事会・事務局からの連絡調整					○	最近出席者が少ないのが悩み

山梨地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間 評価	活動によってあげた成果や 目標に対する評価、課題、 今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	イベントの開催 (ライトダウンやまなし八代会場)	市民立共同発電所を活用してイベントを開催する	年1回のライトダウン開催		11/5			参加者30名	◎	毎年恒例になり、定着した
2	PV-Greenを活用した、サッカーJ1ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム開催	PV-Greenの利用普及	年1回以上		9/17			年1回 2,400kWh	◎	グリーン電力活用試合の開催は毎年恒例になり、他のグリーン電力証書やカーボンオフセットでなく、PV-Greenを指定して利用してくれるようになっている
3	「広がれ！小瀬エコスタジアム実行委員会」に協力し、小瀬エコブース担当	一般県民に対し、PVやPV-Greenのさらなる普及を図る	年1回	8/13				年1回 体験参加者30名	◎	子どもたちへソーラーおもちゃの体験を行っている。毎年依頼をいただき、定着した
4	役員会の開催	活動の展開	年4回	8/13				年1回	○	もう1～2回の開催が今後の目標
5	会員の拡大	PVのさらなる普及	年間を通して					—	▲	PV-Greenの紹介やイベントなどを通して、間接的に拡大行動はできてはいると思うが検証できていない
6	第2回ソーラーサッカー全国大会・山梨太陽熱エネルギーフェスへの協力	他団体との協働	参加者500名	7/16				全体参加者400名	◎	多くの団体とのネットワークができた

【年間評価】◎：目標を達成（達成率120%以上） ○：目標を達成（達成率100%以上） △：目標未達（達成に向け改善可） ▲：目標未達（改善不可） ×：実施されず

静岡地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	フォーラム・セミナーの開催 (年2回)	新たな地域会員の獲得による会の活性化	2回開催				掛川見学会 5/27	会員増 2名	△	フォーラム・セミナーの開催はできなかつたが、県西部にて見学会を実施し、会員拡大を図った
2	行政・自治体活動への参画	・ 活動内容の紹介と市民の環境意識の向上 ・ 自治体との関係強化	4回出展		富士市 12/3	沼津市 2/5 裾野市 2/19		3回出展	○	県内3市環境イベントへ出展。環境関連団体との連携を継続
3	社会活動への参画	関連周辺活動への参画による視野の拡大	3件参画	三島祭り 8/16	健康祭り 10/20 反原発集会 11/20				○	太陽光発電・環境問題の枠を超えた各種活動への間接的参加による知名度向上
4	市民共同発電所建設の推進	・ 地域会員の結束強化 ・ 会の活動費の確保	—				でんきの森 連系 4/16		○	本部市民共同発電所の建設に参画
5	世話人会の開催	・ 地域の結束強化 ・ 地域活動の活性化	9回開催	通年				8回開催	△	ほぼ予定通りの頻度で開催できたが、県東部が主で中部は2回、西部は0回であり、今後の課題
6	学習と情報収集 会員とのつながり強化	・ 世話人、会員の情報交換 ・ 本部イベントへの参加 ・ 会員宅、PV 無料点検 (先着 10軒)	3回実施	通常総会 7/31 無料点検 6軒		無料点検 8軒	大集合 イベント 4/23		○	本部のイベントへの参加や、会員宅への無料点検実施を通じて情報交換を行えた

中部地域交流会

No.	2015年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	世話人会の開催	PV-Netの活動、地域活動の共有、企画力アップ	毎月開催	毎月				11回	○	半年以上かけて、世話人会の在り方を討論、整理。和やかに運営できた
2	暮らし方交流会の開催	「エネルギー問題は生き方の問題」をテーマに討論を積み重ねる	交流会開催			×		未開催	×	世話人会の討論不足
3	オフグリッドな暮らしづくり	具体的な実践交流、発信、拡がり	準備会開催	○				1回	△	世話人間の交流とはなったが、発信に至らなかった。

関西ブロック協議会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	研修会・学習会の実施 (主なテーマ：太陽光発電を取り巻く政策・課題・災害、PV健康診断による発電所管理)	・ 関西圏内の各地域交流会を縦いネットワークで相互補充し、活動の支援をはかる ・ 各地域活動の活発化、再生	—	7/10	9/10 10/23	12/3 1/21	3/12 5/14 5/18	8回開催。回数を重ねているが、思うような効果は上がっていない	△	協議会の機能は、関西地域の各交流会の“プラットフォーム”であり、課題を共有しながら、協議する場である。協議会自体が事業を企画、実施することはなく、各地域の活動を支援し、推進することを目的としている
2	メールニュース配信 (会員向け、一般向け)	PV-Net および PV-Net 関西ブロックの取り組みの発信・周知	—		10/8	12/1 12/5 12/26 1/14,2/3	3/1,3/22 4/18 5/1,5/8	11回発行	—	一般向けメールニュースは、再生可能エネルギーに関心を持つ市民約1,000名以上に発信

大阪地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	他団体との連携によるPVの基礎理解促進	まだPVの基礎的な情報を持っていない多様なNPO等へ基礎的情報の出前講演、提供を推進する	3団体とのミーティング						×	他団体との活動連携は実施できなかった。目標は今後も持ち続けたい。交付金が交付されていなく、活動資金の調達もままならず、モチベーションを高めるできない要因となっている。
2	公的関連行事発信	助成制度や非常時の自立運転の方法等についてメディアを通じて会員以外へも発信	反応(サポート) 2団体						×	実施できなかった。Facebookなどのアクセス向上の技術等が必要少数人数で対応できることから考えたが、時間に余裕がない
3	関西地域協議会の連携強化協議	弱体化している“活動力”の再生を目指す	3回/年						○	関西交流会(滋賀)、京都交流会、関西協議会との連携により学習会を8回開催。会員の入会、定着が1名。継続はされているが、当初の目的から拡散して、目標が見えない。休職会員が参加してくれるケースもあるが、継続的な参加はできていない

宮崎地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	セミナーの開催 (年4回)	PVの抱える諸問題について設置者のリテラシーを高める	参加者のべ40名	通年				5回	◎	台風によるPV飛散事故の被害者からの相談に対応した。また、再エネ紹介の場でリテラシーを高める活動を行った
2	熊本地震支援活動	熊本地震によるPV関連の二次災害の防止を図る	2回実施	通年				3回	◎	現地対応を2回、熊本での報告会1回に参加した。貴重な情報を得ることができた
3	PV-Greenの販売拡大	各種イベントで紹介する	6回	通年				5回	△	再エネ紹介の場で紹介を行った
4	世話会会の開催	—	年2回	通年				2回	○	災害対応等の計画、報告等を行った

【年間評価】◎：目標を達成（達成率120%以上） ○：目標を達成（達成率100%以上） △：目標未達（達成に向け改善可） ▲：目標未達（改善不可） ×：実施されず

兵庫地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	年間評価	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	自然エネルギーフォーラム 2016 開催	再生可能エネルギーの普及	参加者 80名以上	準備		12/4 開催		参加者 102名	◎	兵庫地域交流会の活動の広報ができた
2	神戸市灘区水車新田における小水力発電 設置検討	自ら再生可能エネルギーの創エネを実践する	—	通年				—	○	ポテンシャル調査、関連許可機関、地元関連組織への説明実施
3	太陽光発電設置後の現地訪問診断の試行	太陽光発電設備の適正な維持管理によるトラブルの早期発見	点検先 6カ所	7/22 7/27	11/16 11/18			点検先 10カ所	◎	接地抵抗不足 4 設備、パネル不良の可能性有 3 設備発見。不良パネルをいかに特定するかが課題
4	太陽光発電の発電に関する情報提供	地域会員の会員満足度アップ	—	通年				—	○	・ 共同ソーラー発電所発電状況報告 ・ HP の我が家の発電所紹介コーナー ・ Facebook での活動報告
5	太陽光発電設備の設置相談 (設置前)	再生可能エネルギーの普及	10 回	通年 (10/29,30 ひょうごエコフェスティバル出展)				12 回	◎	ひょうご環境創造協会再生可能エネルギー相談支援センターの現地相談制度にコンサルとして協力
6	世話人会の開催	地域活動の活性化	毎月開催	通年				毎月開催	◎	世話人の積極的な参画により活動の企画、推進がスムーズに実施

九州地域交流会

No.	2016年度の地域での活動内容	目標 (数値、状況)	実施スケジュール				実績 (数値、状況)	活動によってあげた成果や目標に対する評価、課題、今後の改善点について
			6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月		
1	熊本地震 PV 被災調査を行うとともにその結果と検証をもとに報告会を開きます	—	6/23,24		12/12 ～15	3/8	◎	第 2 回現地調査 (6 月)、第 3 回現地調査 (12 月)、報告会 in 熊本 (12 月)、報告会 in 東京 (3 月)
2	PV の安全性調査に協力します	—					—	九州として具体的な調査はできていないが、BPD 調査に協力。関東圏の会員宅を中心に行った調査では、予想を超える不具合事例を検証することができた
3	被災地での市民共同発電所づくりや、リユース・リサイクルの試験的な運用ができるように SONEQ や、熊本、宮崎等の関係者とともに実現を目指します。	—					◎	被災地での市民共同発電所づくりは、災害調査を優先したため次年度以降に引き続き実施の検討を続ける。リユース・リサイクルの試験的な運用ができるよう、SONEQ (現 K-RIP) や熊本、宮崎等の会員および関係者とともに調査やスキーム作りの検討。北九州の PV リサイクル工場との連携について協議した。リユース実現には数量の問題などもあり、実現までは至っていない
4	九州内の地域交流会の組織化を進めます。	—					○	組織部とセンターとで協議しながら、熊本地震での協業をベースに、九州地域交流会ならびに九州各県の地域交流会を再興・新設の下準備を行った

(6) 2016 年度各専門部会活動報告

地域世話人の中から専門部担当を擁立し、地域と一緒に活動してきた専門部会ですが、地域活動の活性化に伴う世話人人材の不足から、ここ数年、基盤地域に寄らない新たな形での運営方法（プロジェクト方式）が主流になってきています。部会も含め、より開かれた運営が会活動の活性化につながっています。

相談室

No.	2016 年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール				実績 (数値、 状況)	年間 評価	活動によってあげた成果や 目標に対する評価、課題、 今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	「相談室便り」の随時 発行&HP 掲載	・ 会員への情報提供 ・ 注意喚起、関心継続	月に2～ 3回発行	随時				—	△	発行&HP 掲載までは至らず
2	・ 地域の会員向けイベ ントでのカルテ・発電量登 録の説明会開催 ・ 地域管理ページの活用 (未登録者抽出等)	カルテ・発電量登録率の 向上	登録率を 現状より 20%UP	7/10		12/4 1/21		登録率 未把握	△	・ 関西地域を中心にイベントで PV 健康診断の講習、説明を実施。 ・ 会費納入フォロー、BPD 調査の 際、カルテ登録説明実施。
3	PV オーナーの義務、安全 管理、保安全管理、注意事 項、システム解説等、項目 毎のプロジェクト活動	システム管理に関する FAQ づくり	暫定版 発行 順次追加	随時				—	△	FAQ づくりは一部進んだが、組織 的な活動までは至らず

財政部

No.	2016 年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール				実績 (数値、 状況)	年間 評価	活動によってあげた成果や 目標に対する評価、課題、 今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	管理コストの削減と 運営効率化	効率的な財政運営		通年				—	△	—
2	イベント時における物販	新たな事業収益の確保に 向けた調査・研究	手数料 収入 2万円	通年					×	活動ができなかった

普及広報部

No.	2016 年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール				実績 (数値、 状況)	年間 評価	活動によってあげた成果や 目標に対する評価、課題、 今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	PV-Net オリジナルの コンテンツ（記事）拡大	団体の価値を高め、賛同者 (会員、寄付者、ボランティ ア、イベント参加)を増やす	ウェブサイトの 滞在時 間の増加 (現在平均 1分10秒)	通年				サイトリニュー アル後、半年間 の滞在時間： 6分13秒 ⇒ 5.3倍	◎	・ 総閲覧回数（PV 数）⇒ 4.5 倍 ・ 平均ページ閲覧数 ⇒ 3.6 倍 ・ 直帰率 ⇒ 43%減 サイトリニューアルの成果は現れている。 より寄付・会員増へとつなげていきたい
2	各種広報ツールの整備		リーフレット のリニュー アル	大集合イベントでの配布				着手できず	×	スタッフ不足につき着手できず。広 報におけるチームづくりが必要

事業化検討委員会

No.	2016年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や 状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール				実績 (数値、 状況)	年間 評価	活動によってあげた成果や 目標に対する評価、課題、 今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	電力自由化の対応 (再エネの普及)	市民電力や地域の 発電所と新電力と連 携強化 (売電と買電)	・5カ所の新電力 への市民・地域 発電所への紹 介(売電) ・50名の新電力 会社への切り 替え(買電) ・市民発電所の 設立(3カ所)	[Progress bar: 6月～8月, 9月～11月, 12月～2月, 3月～5月]				・新電力へ の発電所の 紹介は実施 ・新電力へ の切り替え は新電力側 の都合により 遅延 ・市民発電 所は1カ所 の設立	◎	・新電力(みんな電力・じぶん電 力)との連携体制が整った。共 同活動にて250万円ほどの収 益につながった ・でんきの森発電所をパネルオー ナー制での建設を行った。今後 はこのノウハウを展開し、市民 発電所を設立し、再エネを普及 させていく
2	基盤強化事業	昨年度抽出した事業 の事業化を推進する	2つ以上の 事業化を目指す ・広告営業 ・リユース(PV、バッテ リ)市場づくり ・PVパネルの 共同購入等	[Progress bar: 6月～8月, 9月～11月, 12月～2月, 3月～5月] 通年				保守点検プロ グラムの事業 化検討を開始。その他、 検討は進めた が事業化まで 至らなかった	○	保守点検プログラムテキスト(案) (案)完成。プレ講座で1.5万 円の収益に繋がった。ただし全 般的には、1つに注力するため、事 業化までには至らず、検討いた でける方を募集することなどが 必要
3	2019年度問題対応 (会員向け)	2019年(FIT 終了 後)になった時に会員 が不利益を受けない ような施策を検討	施策立案 ・政策提言 ・システム対応 ・市場創造	[Progress bar: 6月～8月, 9月～11月, 12月～2月, 3月～5月] 通年				それぞれ検討 は進めたが施 策までは至ら ず。継続して 検討する	×	

組織部

No.	2016年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール				実績 (数値、 状況)	年間 評価	活動によってあげた成果や 目標に対する評価、課題、 今後の改善点について
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月			
1	地域・センターおよび 地域間連携の強化	PV-Net 全体の方針を踏ま えつつ、地域間の課題を共 有化および成功事例を水平 展開し、地域活動の活性化 を図る	代表者会 議の開催 (2回)	[Progress bar: 6月～8月, 9月～11月, 12月～2月, 3月～5月] 10/22, 3/12				代表者会議 を2回開催。 地域間の情 報交換、課題 の共有化、セ ンター情報の 共有化等が 実現できた	◎	千葉地域の成功事例(世話 人への自由参加)を各地で展開 し、その他の地域でも実施され るようになった。資材を地域間で共 同調達するなども行われた
2	関東・東北地域の 地域交流会活動の 自立・活性化支援	・東北地域交流会が自 立的に活動する ・関東地域交流会活動 の活性化	・東北地域交 流会世話人 会の開催サ ポート ・関東各地 交流会への 参加・企画サ ポート(年6 回程度)	[Progress bar: 6月～8月, 9月～11月, 12月～2月, 3月～5月] 通年				茨城地域交 流会: 10 回、群馬地 域交流会: 1 回、東北6 県地域交 流会: 3回に 参加し、企画 等をサポート	○	・東北地域交流会が地域を 変え、3回開催された ・群馬地域交流会の世話 人会が再開された ・茨城地域交流会で共同発 電所の取組みが検討
3	関西地域交流会の活 性化・世話人の増強サ ポート	PV-Net や再生可能エネ ルギーに関する各種情報 勉強会を行い、世話人の強 化と増強をはかる	・研修会の 開催 ・各種情報 発信	[Progress bar: 6月～8月, 9月～11月, 12月～2月, 3月～5月] 通年				研修会: 8回 メールニュー ス発行: 11回	◎	世話人の増強には至らなかつ たが、世話人強化と関西圏世話 人の交流につながった
4	組織部の活動成果を定 期的に会費収入・会員 数で評価・確認する	組織部活動の成果を確認 ・把握し、活動の方向性に生 かしていく	年2回、会 費・会員数 による評価 を実施。総 括を行う	[Progress bar: 6月～8月, 9月～11月, 12月～2月, 3月～5月] 9月, 3月				実施できず	×	組織部としての評価はできなかつ たが、理事会で報告される会員の 入退会状況を見ると会員数は減 少しており、抜本的なテコ入れが 必要。一方で、組織部の人員増 員も必要

【年間評価】◎：目標を達成(達成率120%以上) ○：目標を達成(達成率100%以上) △：目標未達(達成に向け改善可) ▲：目標未達(改善不可) ×：実施されず

2号議案 2016年度決算報告

(単位: 円)

収 支 計 算 書

(自)平成28年 6月 1日 (至)平成 29年5月31日

科 目	予算額(a)	実績額(b)	差異(b)-(a)	到達率	備考
I 経常収入の部					
1 会費収入	4,800,000	4,061,000	▲ 739,000	84.6%	
2 寄付金収入	1,500,000	3,784,843	2,284,843	252.3%	
3 事業収入					
① グリーン電力事業					
a.自治体G電力事業	115,000	992,100	877,100	862.7%	委託:葛飾区(92)
b.PVG事業収入	2,150,000	1,544,476	▲ 605,524	71.8%	自主事業:手数料収入
② 市民共同発電事業					
a.市民ファンド事業	1,450,000	764,446	▲ 685,554	52.7%	センター(静岡、野田村)、静岡
b.市民共同発電所事業	1,650,000	11,345,790	9,695,790	687.6%	静岡(80)、小諸(70)、でんきの森
③ 普及啓発事業(講師派遣等)	4,500,000	3,592,391	▲ 907,609	79.8%	講座・セミナー開催、講師派遣/東都生協 ソーラー普及事業、物品販売、広告収入等
④ その他事業	1,000,000	14,715,284	13,715,284	1471.5%	自主事業:新規電源調達(208) 委託:NEDO(1200)
4 助成金収入	15,500,000	730,000	▲ 14,770,000	4.7%	ほしのみや保育園(73)
5 雑収入	300,000	61,332	▲ 238,668	20.4%	受取利息
経常収入合計(A)	32,965,000	41,591,662	8,626,662	126.2%	
II 経常支出の部					
1. 事業費					
① 人件費(給与手当)	5,500,000	5,944,372	444,372	108.1%	
人件費(有償ボランティア費)	6,000,000	3,995,516	▲ 2,004,484	66.6%	NEDO事業人件費含む
法定福利費	660,000	1,077,365	417,365	163.2%	
② 間接経費(事務所費)	3,353,000	2,545,491	▲ 807,509	75.9%	
③ 事業直接経費					
自治体G事業	250,000	253,399	3,399	101.4%	委託:葛飾区
PVG事業費	770,000	996,104	226,104	129.4%	自主:PVG事業
市民共同・市民ファンド事業	200,000	9,211,356	9,011,356	4605.7%	静岡、野田村、小諸、サポート事業(地域 舎)、 でんきの森 普及広報部(広報関連、出張イベント費用 等)、普及啓発事業(講師派遣、東都生協 ソーラー普及事業、小諸エコビレッジ等)、 奈良町高専等
普及啓発費	2,800,000	2,677,062	▲ 122,938	95.6%	
組織交流活動費	1,000,000	845,352	▲ 154,648	84.5%	地域交流会費用、組織部活動
その他の事業	2,200,000	2,647,919	447,919	120.4%	NEDO事業、新規事業(電源調達)、その他
助成活動	2,000,000	67,048	▲ 1,932,952	3.4%	助成:ほしのみや保育園
相談室費	100,000	111,400	11,400	111.4%	相談室交通費
減価償却		729,448			機械装置(発電設備等)
事業費合計	24,833,000	31,101,832	6,268,832	125.2%	
2. 管理費					
人件費(給与手当)	2,500,000	2,547,588	47,588	101.9%	
人件費(有償ボランティア費)	1,800,000	1,271,717	▲ 528,283	70.7%	
法定福利費	330,000	461,728	131,728	139.9%	
福利厚生費	30,000	35,591	5,591	118.6%	
会議費	360,000	536,270	176,270	149.0%	総会、理事会費用
旅費交通費	100,000	17,508	▲ 82,492	17.5%	
印刷費	10,000	0	▲ 10,000	0.0%	
通信費	280,000	298,298	18,298	106.5%	
賃借料(リース料)	180,000	234,086	54,086	130.0%	複合機リース料
備品・消耗品費・事務用品費・ 地代家賃・光熱費	65,000	50,109	▲ 14,891	77.1%	
支払手数料	555,000	537,405	▲ 17,595	96.8%	
支払手数料	105,000	112,021	7,021	106.7%	顧問弁護士、顧問税理士料等
雑費・雑損益・支払利息	20,000	164,519	144,519	822.6%	
租税公課費	180,000	96,452	▲ 83,548	53.6%	都民税等
減価償却		312,621			
管理費合計	6,515,000	6,675,913	160,913	102.5%	
当期支出合計(B)	31,348,000	37,777,745	6,429,745	120.5%	
期首棚卸高		1,092,250			
期末棚卸高		1,068,870			
当期売上原価(C)	0	23,380	23,380		
当期収支差額(A)-(B)-(C)	1,617,000	3,790,537			

貸借対照表

平成29年5月31日現在

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

(単位： 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産		I 流動負債	
現金・預金	6,323,044	短期借入金	5,000,000
棚卸資産	1,068,870	未払費用	471,624
前払費用	262,047	前受金	2,643,000
未収入金	367,491	仮受金	37,440
立替金	75,188	預り金	420,447
流動資産合計	8,096,640	証書預り金	2,612,674
		基金預り金	2,699,710
II 固定資産		流動負債合計	13,884,895
有形固定資産	9,732,097	II 固定負債	
無形固定資産	27,010	長期借入金	3,080,000
投資等その他の資産	676,678	固定負債合計	3,080,000
固定資産合計	10,435,785	負債の部 合計	16,964,895
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	▲ 2,223,007
		当期正味財産増加額	3,790,537
		正味財産の部 合計	1,567,530
資産の部 合計	18,532,425	負債及び正味財産合計	18,532,425

会計財産目録
平成29年5月31日現在

特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク（単位：円）

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	事務局	138,604	138,604
	茨城地域交流会	24,269	
	栃木地域交流会	5,791	
	群馬地域交流会	151,963	
	埼玉地域交流会	182,325	
	千葉地域交流会	152,857	
	東京地域交流会	395,045	
	神奈川地域交流会	0	
	山梨地域交流会	129,144	
	静岡地域交流会	131,639	
	中部地域交流会	128,029	
	関西地域交流会	0	
	宮崎地域交流会	119,754	
	九州地域交流会	127,057	
	佐賀地域交流会	32,767	
	富山地域交流会	150,233	
	山口地域交流会	40,304	
	京都地域交流会	187,866	
	小諸地域交流会	30,748	
	兵庫地域交流会	0	1,989,791
普通預金	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 No. 2368131	72,437	
	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 No. 2417857	2,253,395	
	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 No. 2417860	487,481	
	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 No. 0916079	498,067	
	郵便貯金 振替口座 00190-7-758332	33,382	
	楽天銀行 ロック支店 No. 7015479	1,527	
	郵便貯金 普通口座 10130-79780731	843,846	
	郵便貯金 普通口座 10140-37067891	4,514	4,194,649
棚卸資産			
(書籍)	太陽光発電技術者育成のための基礎知識 @1250×289冊	361,250	
(書籍)	太陽光発電の家づくり入門 @1700×4冊	6,800	
(書籍)	よくわかる自然エネルギーQ&A @1400×19冊	26,600	
(書籍)	エネルギーシフト @1400×21冊	26,600	
(書籍)	アドバイザー試験公式テキスト @2400×1冊	2,400	
(書籍)	我が家ではじめる太陽光発電 @1600×338冊	540,800	
(書籍)	単管パイプによる太陽光発電 @2000×12冊	22,000	
(書籍)	人生は100Wで生きられる @1400×3冊	4,200	
(書籍)	ソーラーシェアリングのすすめ	30,400	
(商品)	ソーラーランタン @1800×12、ランタンアウトドア @2、160×5	32,400	
(商品)	携帯型ソーラーパネル SunPad10 @5、140×3	15,420	1,068,870
前払費用			
(家賃)	湯島ビルディング 湯島事務所 家賃・倉庫料	142,693	
(施設利用料)	小諸エコビレッジ	17,960	
(引落し手数料)	16年度年会費引落手数料	77,819	
他	インターネット利用料等	23,575	262,047
未収入金			
	株スマートエナジー パネル紹介料	223,491	
	のだむら市民共同発電所 サポート料	144,000	367,491
立替金	のだむら市民共同発電所 事務経費	75,188	75,188
流動資産合計			8,096,640
2. 固定資産			
有形固定資産			
工具器具	輪転機・電話設備一式等	55,576	
機械装置	(静岡市民共同発電所)	2,453,263	
	(小諸市民共同発電所)	2,122,211	
	(小諸独立型発電所)	1,165,005	
	(ほしのみや幼稚園)	1,361,954	
工具・器具	(バイパスダイオード・パワーコンディショナー)	2,530,635	
	車両運搬具(小諸独立型発電所)	43,453	9,732,097
無形固定資産	電話加入権	27,010	27,010
3. 投資等			
出資金	未来バンク事業組合	139,000	
出資金	合同会社 野田村だらすこ市民共同発電所	50,000	
出資金	恵那山おひさま発電所・静岡市民共同発電所 @30,000	60,000	
出資金	川根スカイエナジー合同会社・合同会社うつくしま @50,000	100,000	
差入保証金	湯島ビル 本社事務所保証金	327,678	676,678
固定資産合計			10,435,785
資 産 合 計			18,532,425

科 目		金 額	
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	(外崎 幸 氏より)	5,000,000	5,000,000
未払費用	地域交流会費用	471,624	471,624
前受金	2017年度以降の会費	2,643,000	2,643,000
仮受金	グリーン電力入金 未処理	37,440	37,440
預り金	給与源泉税 報酬源泉税 住民税 雇用保険料 社会保険料 その他(弁護士顧問料) その他	121,327 7,862 44,700 12,626 53,932 60,000 120,000	420,447
証書預り金(PV-Green)		2,612,674	2,612,674
基金預り金(PV-Green)		2,699,710	2,699,710
流動負債合計			13,884,895
2. 固定負債			
長期借入金	(静岡市民共同発電所への出資金)	3,080,000	3,080,000
固定負債合計			3,080,000
負債合計			16,964,895

監査報告

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワークの平成 28 年度収支決算について、収支決算書に基づき関係帳簿および証票書類を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

以上

《 監査年月日 》

平成 29 年 7 月 4 日

《 監事 》

氏名

吉永光伸



氏名

茅澤公子



3号議案 2017年度活動方針および活動計画（案）

（1）2017年度活動方針

発電所オーナーに寄り添ったサポートが行えるよう、太陽光発電に関する専門性をより高めていくとともに、太陽光発電以外の多様な再生可能エネルギーにも着目し、地域に根ざした再エネ拡大の仕組みづくりを検討する初年度とする

2016年の電力自由化、2017年のFIT法改正など、電力・再エネを取り巻く環境と制度は刻々と変化しています。いち市民として発電事業を営むPV-Net会員が、社会的な変化に飲み込まれることのないよう、発電開始から終了・廃棄まで一貫したサポートができるPV-Netになることを目指し、太陽光発電の設備・制度に関する専門性をより高めていきます。

また、エネルギーシフトを実現するためには、太陽光発電の導入だけでは限界があることから、太陽光発電以外の再生可能エネルギーにも目を向けるなど、多角的な再エネ拡大の取り組みを検討する最初の年としていきます。

（2）活動面での重点活動

「PVの健全な普及・発展」というPV-Netの使命に立ち返り、太陽光発電における「ゆりかごから墓場まで」のプロセスにおいて、課題となっている保守・メンテナンス、リユース・リサイクルに取り組んでいきます。また、前年に引き続き、プロシューマーの育成にも積極的に取り組みます。会員一人ひとりがその自覚により深く目覚め、エネルギーの消費者であり生産者であるという視点を持って社会と関わり、PV-Netの活動へ参画できるような各種の働きかけを行っていきます。

1. 保守・メンテナンスの強化（健康診断充実、PVカルテ充実）

- ① PV健康診断の推定発電量表示の回復【2017年度実施】
- ② PV健康診断と管理データベースの再構築【2～3年かけて実施】
- ③ 資源エネルギー庁委託事業「神奈川県での再エネ推進のための広報事業」【2017年度実施】
- ④ PVカルテ、発電量登録呼びかけ【継続】
- ⑤ BPD故障の調査および報告【継続】
- ⑥ 熊本地震をはじめとするPVと災害に関する調査・まとめ【継続】
- ⑦ 相談事例コンテンツの作成・発信【継続】
- ⑧ 改正FIT法に対する対応フォロー【2017年度実施】

2. プロシューマーの育成

- ① 会員・市民に対するスイッチング支援（みんな電力、じぶん電力への電力切り替えの働きかけ）【2017年度実施】
- ② 市民共同発電所建設サポート（茨城発電所建設ほか）【継続】
- ③ 普及啓発イベントの開催（大集合イベント1回／年、自然エネルギー学校3回／年）【継続】

3. リユース・リサイクルに関する取り組み

- ① パネル回収（3件程度）および中古パネル販売、再利用事例についての情報発信【継続】

4. 2019年問題に対応するための活動

- ① 2019年問題に対する提言、アピール【2017年度実施】
- ② バッテリーを活用した準独立型PVシステムの活用など、対応策の提示と実証【2017年度実施】

(3) 組織運営面での重点活動

組織面の重点活動としては、PV-Net全体の運営基盤を固めるため、昨年に引き続き財政面と運用面での機能強化を図ります。財政においては安定的かつ汎用性の高い資金源として、寄付金や会費収入の拡大に努めます。また、地域活動の活性化や団体運営の円滑化を図るため、理事メンバーを含めた地域代表者会議を開催します。

団体活動において、ウィークポイントとなっている情報発信力の強化に努めています。ユニークかつ先進的で有意義なPV-Net活動を広く世の中に知ってもらうためのコンテンツづくり、情報発信力を強化し、かつ再生可能エネルギーを取り巻くさまざまな状況が変化する中、最新情報をかみ砕き、PV-Net会員に対して有意義かつためになる情報発信を実施します。また、昨年からの継続課題となっている認定NPO法人取得に向けた会計改善策では、NPO法人会計基準に合わせた勘定科目の策定を実施していきます。

5. 財政基盤の強化

- ① 賛助会員の獲得
- ② 寄付の獲得
- ③ 助成金の獲得

6. 理事会と地域連携

- ① 代表者会議の開催（年2回）

7. 事務局機能の強化

- ① 情報発信力の強化（ウェブサイトコンテンツの充実・発信・会員向け情報の充実化）
- ② 会計改善

(4) 2017 年度各地域交流会活動方針および活動計画

東北 6 県地域交流会

「東北 6 県交流会の自立（自主財源確保・PV-Net 内での存在感の向上）」「世話人の連携確立と、各県のキーマン探しおよび課題・テーマの共有」「会員に対する PV-Net 活動への参画の働きかけ」を通じて、PV-Net の熱狂的なファンづくりを目指します。

No.	2017 年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	東北 6 県地域交流会の自立	東北 6 県で交流会開催、または各県訪問 (地域課題、会員要求事項の把握～各県別テーマ設定ができないか模索)	6 県各 1 回以上	山形県・東根 8/5,6	調整中			2.③普及啓発イベントの開催
2	東北 6 県地域交流会活動支援型市民共同発電所の建設	活動資金・自主財源 (建設～売電開始～点灯式、資金運用の確立)	自主財源の確保	設計 7 月 材料手配 8 月	施工 9 月 売電開始 10 月	資金活用	資金活用	2. ②市民発電所サポート
3	PV カルテの登録、発電量記録の呼びかけ	・ PV-Net 熱狂的ファンづくり ・ 会員としての目覚め (東北 6 県ネットワークづくり) (メールでのつながりづくり)	各県の世話人をみつける	通年				1. ④PV カルテ、発電量登録呼びかけ
4	各県別テーマの設定	・ 会員相互交流 ・ 学習会等の開催 (交流会の成果として各県で独自の事業展開が行われることをめざす)	新規会員 5 名／年の獲得	メールでフォロー				2.③普及啓発イベントの開催

群馬地域交流会

No.	2017 年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	世話人会の開催	地域の結束強化 地域活動の活性化	6 回／年	通年				—
2	世話人の学習機会の保証	地域活動の活性化	6 回／年	通年				—

茨城地域交流会

No.	2017年度の 地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	セミナーの開催	行政の認知 県民への啓蒙	未定					2.③普及啓発 イベントの開催
2	市民共同発電所の建設	・ 地域会員の結束強化 ・ 普及啓発に係る活動 費の確保	未定	通年				2. ②市民発 電所サポート
3	PV カルテの登録、 発電量記録の呼びかけ	PV-Netの価値向上	カルテ登録 率昨年比 10%増	通年				1. ④PV カル テ、発電量登 録呼びかけ
4	総会・イベントの参加	会員の結束強化	未定	通年				—
5	静岡地域会との連携	連携強化による新たな活力	未定					—

千葉地域交流会

No.	2017年度の 地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	千葉エネルギーフォーラム の開催 (年1回)	・ Renet Chibaと共催 ・ 最新情報の発信	1回開催 /年	通年				2. ①スイッチング 支援 4.①2019年問 題に対する提言
2	自然エネルギーを広める ネットワークちば 定例会参加	・ 情報交換/共有 ・ 他団体との連携	フォーラム で共催	通年				2. ①スイッチング 支援 4.①2019年問 題に対する提言
3	市民エネルギーちば 合同会社への協力	・ ソーラーシェアリング発 電所発電量を分析 ・ 委託費収入	2発電所 分	通年				—
4	イベント出展 (他団体との連携)	・ PV-NetのPR ・ PV無料相談 ・ ソーラーパッチ販売	4回出展 /年	6月	9月 10月		5月	2. ①スイッチング 支援 4.①2019年問 題に対する提言
5	職業能力開発促進 センターへ講師派遣	・ 普及啓発に係る活動 費の確保	1回派遣 (のべ2 日間)				5月	—

埼玉地域交流会

埼玉地域交流会は、会員のための活動を基本とします。①会員が直面する 19 年問題 ②古くなったパネルの対応 ③改正 FIT 法の対応サポート、などを重点に行います。

No.	2017 年度の 地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	埼玉地域フォーラム	会員ための情報を 発信、共有	年 1 回 開催			2月を 予定		2.③普及啓発 イベントの開催
2	見学会 「巡視船・あらかわ号から 学ぶ、荒川の治水対策」	太陽光発電などを含めた 自然エネルギーの啓発	年 1 回 以上	6/21				2.③普及啓発 イベントの開催
3	独立型PV組立講座 ワークショップ	PV の普及	年数カ所	年数カ所を予定				4. ②バッテリ ーを活用した準 独立型PVシス テムの活用
4	自治体等のイベント参加	県・市町村・環境団体主催 のイベント参加による PV- Net 活動の周知、会員拡大	10 イベント に参加	通年				2.③普及啓発 イベントの開催
5	市民共同発電所建設支援	埼玉県内数カ所を予定	随時	通年				2. ②市民共 同発電所建設 サポート

山梨地域交流会

山梨では、イベントでの普及啓発を、サッカーJ1・ヴァンフォーレ甲府のホーム戦前のエコブースを毎年 1 回、そして年 1 回全県で行われるライトダウンやまなしの八代会場を担当して行っています。こうした一般の方が参加するイベントでは、自立型の小型太陽電池の利用なども啓発し、災害時にも有効なこともお知らせしています。また 2019 年に向けて、山梨県の政策目標「地産地消エネルギー100%」の実現のためにも、電気を熱に使わないことも啓発しています。

No.	2017 年度の 地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	セミナーの開催	行政の認知 県民への啓蒙	未定					2.③普及啓発 イベントの開催
2	市民共同発電所の建設	・ 地域会員の結束強化 ・ 普及啓発に係る活動 費の確保	未定	通年				2. ②市民発 電所サポート
3	PV カルテの登録、 発電量記録の呼びかけ	PV-Net の価値向上	カルテ登録 率昨年比 10%増	通年				1. ④PV カル テ、発電量登 録呼びかけ

東京地域交流会

すでにエネシフ意識が高い人だけが集まって学習会を開催したり、パブコメほかの意思表示をしても、現有勢力では「エネルギー基本計画」を変えることができないというのが現実です。「ふつうの人」にコンタクトして意識啓発し、グリーンな人を増やす、地域をグリーンにするというアウトカム達成に向けた取り組みにチャレンジしています。

No.	2017年度の 地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	市民共同発電支援	都内市民団体の市民発電所設置支援・エネシフ啓発	1基 新規出資者:30名	場所探し→設備選定→事業計画→資金募集				2.②市民共同 発電所支援
2	再エネ電気普及	再エネ電気ハススイッチする人の拡大とエネシフ啓発	小売契約 50名	説明会@武蔵野、三鷹、ほか年10回/イベント				2. ①スイッチ ング支援
3	住宅ソーラー普及事業	見学会&学習会で設置検討者を増やし設置検討支援	設置 5件	見学&学習会@武蔵野、三鷹ほか、年3回				(地域独自)
4	ペランダ発電工作教室	再エネとの身近な接点を提供し、エネシフ啓発	工作20名 見学20名	むさしの、みたか、ごだいら、ほか年4回				2. ③普及啓 発イベント
5	イベント出展	温暖化・再エネ啓発 → 各種事業利用へ誘導	コンタクト 500名	エコライフ みたか	小平 武蔵野		アースデイ	2. ③普及啓 発イベント
6	地域で進める CO ₂ 削減事業	「ふつうの人」にアプローチ 啓発、組織化モデル構築	100人 組織化	むさしの省I社キャンペーン 2017夏		むさしの省I社キャンペーン 2017夏		(地域独自)
7	組織強化… 会員フォロー、新規拡大	会員拡大 → 財政強化、 世話人確保 → 体制強化	会員+20人 世話人+1	市民発電団体、啓発企画、設置者訪問で勧誘				組織面での 重点活動

神奈川地域交流会

会員の PV の保守・メンテナンスの支援の一環として、PV 健康診断、特に近隣比較がある。保証期間を過ぎているシステムが多く、改善にはかなりの費用がかかることから、改めて会員に対し、保証期限になる前にシステムの点検をするよう勧めたい。

No.	2017 年度の 地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	フォーラム神奈川 2018 の開催	大量普及した太陽光発電の 健全な運用とメンテナンスに ついて	年 1 回				3/10	1. 保守・メン テナンスの強化
2	広報誌「PV 神奈川」を 毎月発行し配布	会員へ時の話題や、毎月の 発電量の近隣比較の情報な どを提供	年 12 回					1. 保守・メン テナンスの強化
3	見学会	新しい知識を得る	原則 年 1 回	見学場所の都合により決定。原則、秋開催				2. ③普及啓 発イベントの開 催
4	「青少年のための科学の 祭典」に出展	青少年への環境教育	例年 どおり	8/6				2. ③普及啓 発イベントの開 催
5	ワークショップ「出前発電 所を作ろう！」の開催	会員、一般の希望者を 募集して開催	年数回	7/15				2. ③普及啓 発イベントの開 催
6	地域のイベントに出展 図書館でのセミナー	・ 地域の環境イベントに 協賛出展 ・ 図書館夏休みエコスク ール	各 1 回	ひらつか環境フェア (7/22)、あつぎ環境フェア (10/29)、まなぶん祭り (11/11,12) その他 (旭 7/23、金沢 8/9、瀬谷 8/11)				2. ③普及啓 発イベントの開 催

九州地域交流会

No.	2017 年度の 地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	熊本地震の PV 被災継 続調査を検証し、現地 第 3 回報告会の実施	引き続き福岡大学や熊本 学園大や地元会員と共に昨 年度に行った検証を深化 し、地元報告を目指す	—					1. ⑥PV と災 害に関する調 査
2	リユース・リサイクルの試験 的な運用ができるよう、 K-RIP や新菱、熊本、宮 崎等の関係者とともに実 現を目指します	昨年度の問題点を整理し、 具体的展開を図る。 PVTEC 関連の協力を得 て、移動測定器活用のリユ ース用測定の準備を行う	—					3. リユース・リ サイクルに関す る取り組み
3	九州広域交流会の 組織化	IT を活用した手法で交流を 図り、組織化につなげる	—					6. 理事会と 地域連携

静岡地域交流会

従来同様、会員拡大のためのフォーラム・セミナーの開催、会員サービスの一環として PV システム点検を継続して実施する。新たに、売電・買電を含めた新電力への切り替え支援、2019 年問題への対応としてバッテリー等を活用した効率的なシステム導入への取り組みを進めることにより、さらなる会員拡大につなげたい。

No.	2017 年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	フォーラム・セミナーの開催 (年2回)	新たな地域会員の獲得による会の活性化	会員増 10名		9月		3月	2. ③普及啓発イベントの開催
2	行政・自治体活動 社会活動への参画	・ 活動内容の紹介と市民の環境意識の向上 ・ 関連周辺視野の拡大	参画 7回	2件	3件	2件		2. ③普及啓発イベントの開催
3	保守メンテナンスを通じた 会員へのサービス提供	・ 地域会員の結束強化 ・ 会員の保守意識の向上 ・ 保守技術の向上	実施 10件	準備	5件		5件	1. 保守・メンテナンスの強化
4	市民共同発電所 建設の推進	・ 地域会員の結束強化 ・ 会の活動費の確保	—	通年				2. ②市民発電所サポート
5	再エネ系新電力との 協働式行	・ 新電力との連携による組織の活性化 ・ 会員拡大	紹介 10件	通年				2. ①スイッチング支援
6	学習と情報収集	・ 世話人、会員の情報交換 ・ 本部イベントへの参加	実施 3回	通年				4. ①2019年問題 ②バッテリー活用

宮崎地域交流会

昨年度、宮崎県内で発生した台風通過時の PV 飛散による民家被害に見られるように、PV の普及に伴い、安全性確保のできていない設備が散見される。改正 FIT 法の施行もあり、O&M の重要性も増しているため、改正法にも対応した活動を行っていく。

No.	2017 年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	セミナーの開催 (年4回)	改正 FIT 法に伴う O&M の相談や、災害対応等 PV の抱える諸問題に対応する	4回	通年				1. ②PV 健康診断、⑥PV と災害に関する調査 2. ③普及啓発イベントの開催
2	世話人会の開催		年2回	通年				

中部地域交流会

本年の世話人会活動は、「世話人による意見発表 ⇒ 討論 ⇒ 共有 ⇒ PV-Net ウェブサイトでの発表 ⇒ 中部の会員の意見を拾い集める場」とします。

No.	2017年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	世話人会の開催	① 世話人や会員がやりたいことを集めよう	毎月開催	通年				—
		② 会員の情報発信の場づくり	1件/月	通年				—
		③ 多様な実践、考え方に学ぶ場づくり	あらゆる情報、実践、問題提起を共有しよう					—
		④ 困ったときのPV-Netを見つけ出そう	困ったときは自己責任から、困ったときこそ「おたがいさま」の実践					—
		⑤ PV-Net ウェブサイトの全面活用	—					—

関西ブロック協議会

関西ブロック協議会の基本的役割は変わらないが、「組織・活動の再生」に向け、実態に即した対応を検討する。例えば、理事会等での決定事項の迅速な伝達など、センター・理事会と地域交流会との架け橋となるよう双方向での支援を実施予定。関西圏は事務局と物理的距離があり、大集合イベントなどに参加できない地域にとっては重要と考える。

No.	2017年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	各交流会活動の再生支援	組織部会を含め、圏域の総力を集め、活動環境整備を進め、プラットフォームとしての役割を果たす	地域毎に交流会、世話人会の開催(年2回以上)	随時				6. 理事会と地域連携
2	学習会支援	組織部を中心に実施している学習会について、各交流会に参加を呼びかける	—					2. ③普及啓発イベントの開催
3	関西版HP、メールニュース、SNSの推進	PV-NetのHPがまだきめ細かな運用ができていないため、できるだけ独自の発信を行う	—					7. ①情報発信力の強化

大阪地域交流会

すべてに共通する経費について、センターからの交付は期待できる状況にないが、寄付はもとより助成、補助金等も活動メンバーの負担となり、これも限界がある。計画は予算とともにない場合は単なる絵空事となる。

No.	2017年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	学習会 継続中のゼミを開催 (関西協議会ほかとの共催)	当初の狙い通り、活動会員の発掘、養成を狙う	—					2. プロシューマの育成
2	環境カフェ 地域の市民環境団体と連携	ごちんまりと準備にあまり負担の無い交流と意見交換を通じて、会員以外にも活動の理解・共感を伝える	3団体との交流	通年				2. ③普及啓発イベントの開催
3	見学会 PV、蓄電池等の最新再生エネルギー設備・研究を手がける大学など	准教クラスとの継続的なコンタクトを通じ、大学との連携を視野に	1回		第2四半期を予定			2. ③普及啓発イベントの開催

兵庫地域交流会

太陽光発電システムの一般個人の設置者に対し、設置後も相談できる機会を設け、安心、安全の向上を図るとともに、長期に太陽光発電システムを稼働させることで再生可能エネルギーの継続利用に貢献する。また、再生可能エネルギーを自ら創出するべく、都市近隣の河川における小水力発電の設置計画を推進する。

No.	2017年度の地域での活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	自然エネルギーフォーラム 2017開催	再生可能エネルギーの普及	参加者80名以上	準備		12/3開催		2. ③普及啓発イベントの開催
2	神戸市灘区水車新田における小水力発電設置基本設計	自ら再生可能エネルギーの創エネを実践する	事業化	通年				2. プロシューマの育成
3	太陽光発電設置後の現地訪問診断の試行	太陽光発電設備の適正な維持管理によるトラブルの早期発見	点検先6カ所	7月2回	11月2回			1. 保守・メンテナンスの強化
4	太陽光発電の発電に関する情報提供	地域会員の会員満足度アップ	HP、Facebookの活用	通年				4. ②バッテリーを用いたPVシステムの活用
5	太陽光発電設備の設置相談(設置前)	再生可能エネルギーの普及	10回	勉強会		通年		2. ③普及啓発イベントの開催

(5) 2017 年度各専門部会活動方針および活動計画

プロジェクト方式での部会運営をととし、効率的かつ実質的な活動に結び付けていく1年とします。また地域の枠を超えて幅広い層の中から PV-Net 活動を担う人材を確保、育成していきます。

相談室

No.	2017 年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	「相談室便り」の随時 発行&HP 掲載	・ 会員への情報提供 ・ 注意喚起、関心継続	月に1～ 2回発行	随時				1. ⑦相談事 例コンテンツ作 成・発信
2	・ 地域の会員向けイベント でのカルテ・発電量登録 の説明会開催 ・ 地域管理ページの活用 (未登録者抽出等)	カルテ・発電量登録率の向上 (登録率把握方法を要検討)	登録率を 現状より 20%UP	随時				1. ④PV カル テ、発電量呼 びかけ
3	メンテナンス対応力の 向上	・ PV マスター保守点検技 術者育成 ・ 保守点検マニュアル整備	技術者 2名以上 育成	随時				1. 保守メン テナンスの強化

普及広報部

No.	2017 年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	広報ボランティア チームの組成	現状のマンパワー頼りの広報 から、会員や地域と連携・協 力し、効率的で効果の高い広 報活動にシフトさせる	(昨年、着 手できなかった)広報ツ ールの作成	呼びかけ⇒ワーキング・研修⇒実践				5. 財政基盤の 強化 7. ①情報発 信力の強化
2	広報支援 IT ツールの 導入 & 地域への提案	NPO 向けの広報支援サー ビスを活用することで、情報 発信力を強化する	ウェブサイト を持つ地域 を増やす	通年				7. ①情報発 信力の強化

組織部

No.	2017 年度の 活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、 状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・ 方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	地域・センターおよび 地域間連携の強化	全体方針を踏まえつつ、地 域間の課題を共有化および 成功事例を水平展開し、地 域活動の活性化を図る	代表者会 議の開催 (2回)		✓		✓	6. ①代表者 会議の開催

2	関東・東北地域の地域交流会活動の自立・活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> 東北地域交流会が自立的に活動する 関東地域交流会活動の活性化 世話人がワクワク感を持ち活動できる環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 東北地域交流会世話人会の開催サポート 関東各地域交流会への参加・企画・情報サポート(年6回程度) 	通年				6. ①代表者会議の開催
3	関西地域交流会の基盤強化、世話人の活性化	PV-Net や再生可能エネルギーに関する各種情報の勉強会を行い、世話人の強化と増強をはかる	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の開催 各種情報発信 	通年				2. プロシューマーの育成
4	組織部自体のありかたを検討	組織部予算の獲得方法の検討と、組織部人材の増強	<ul style="list-style-type: none"> 組織部人員の増強 活動予算の獲得 	通年				5. 財政基盤の強化

事業化検討委員会

基本方針は「地域・センターおよび地域間連携強化」と「会員拡大」の2点とする。PV-Net 全体の課題に関して一定の方針を立てながら、同時に地域の多様な活動をサポートできる組織を目指していきます。

No.	2017年度の活動内容	活動の目的 (今年、目指す成果や状態)	目標 (数値、状況)	実施スケジュール／四半期評価				(参考) 団体目標・方針との関連
				6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	
1	再生可能エネルギーの拡大	市民共同発電所推進	<ul style="list-style-type: none"> でんきの森発電所の運営 茨城発電所の設置 	通年				2. ②市民共同発電所支援
2	電力自由化の対応(再エネの普及)	新電力等へのエネルギーシフトの推進	<ul style="list-style-type: none"> 個人や事業者に対する新電力の切り替え支援 設置希望者へのじぶん電力紹介 	通年				2. ①スイッチング支援
3	基盤強化事業	新たな事業化を模索・推進	<ul style="list-style-type: none"> PV-Net が保有するノウハウを活用し、保守点検プログラムの事業化を検討する 昨年度検討したバッテリー・パネルリユース市場創造を継続推進 	通年				1. 保守メンテナンスの強化 3. リユース・リサイクルに関する取り組み
4	2019年問題対応(会員向け)	2019年になった時(FIT 終了後)に会員が不利にならないような施策を検討	<ul style="list-style-type: none"> 施策立案 システム対応(例:グリッドタイムバーター) 市場創造 	通年				4. ②バッテリーを活用した準独立型システムの活用

5号議案 定款改訂（案）

定款変更案新旧対照表

改訂前	改訂案	変更理由
<p style="text-align: center;">第 12 章 公告の方法 （公告）</p> <p>第 59 条 本会の公告は、本会の掲示板及び本会のホームページに掲出するとともに、官報に掲載して 行う。</p>	<p style="text-align: center;">第 12 章 公告の方法 （公告）</p> <p>第 59 条 本会の公告は、本会の掲示板及び本会のホームページに掲出するとともに、官報に掲載して 行う。ただし、法 28 条の 2 第 1 校に規定する貸借対照表の公告については、本会のホームページにおいて行う。</p>	<p>H29 年の NPO 法改正に伴う変更 （貸借対照表の公告が義務付けられたため）</p>

6号議案 役員改選（案）

(1) 理事候補者

	氏名	新・継	推薦枠	所属	現役職
1	都筑建		三 役		共同代表
2	三石博行		地域・専門部会	関西ブロック 組織部	副代表理事
3	伊藤麻紀		事務局枠	事務局	専務理事
4	高柳良大		地域・専門部会	東京・事業部	
5	伊藤博文		地域・専門部会	静岡・財政部	
6	菅原佐喜雄	新	三 役	東北ブロック	—
7	佐藤博士	新	地 域	群馬	—
8	桑原紀仁	新	地 域	埼玉	—
9	佐藤次雄	新	地 域	神奈川	—
10	吉田幸二	新	地 域	中部ブロック	—
11	尾崎雄三	新	地 域	関西ブロック	—

理事会 オブザーバー

	宗貞貴洋	(新)	オブザーバー	九州ブロック	
--	------	-----	--------	--------	--

(2) 監事候補者

1	吉永光伸	継	—	栃木	
2	芦澤公子	継		山梨	

退任役員

氏名	旧 役 職	所 属
藤井石根	代表理事	東 京
梅澤耕一郎	理事	群馬・財政部
松田廣行	理事	埼玉・普及広報部
駒崎茂	理事	埼 玉
横谷公雄	副代表理事	神 奈 川
武田善明	理事	中 部
森岡秀幸	理事	大 阪

●4号議案 PV-Net2017年度予算案

○収入の部

経常収入の部		金額	備考欄
基礎収入	1. 会費収入	4,200,000	個人会費(390)、賛助会費(30)
	2. 寄付金収入	1,500,000	
	基本収入合計(A)	5,700,000	
事業収入	3. グリーン電力事業(PV-Green)	1,600,000	自主事業: PVG手数料収入
	4. 市民共同発電事業	6,230,000	自主事業: サポート事業(香川、岩手、その他地域)、発電事業(小諸、静岡、てんきの森)
	5. 電力切替サポート事業	1,600,000	自主事業: サポート費
	6. 普及啓発事業	4,500,000	講師派遣、イベント・セミナー収益、物品販売、広告収入、その他普及啓発事業
	7. NEDO事業	9,200,000	委託事業: NEDO(620)、産総研(300)
	8. 神奈川メンテナンス事業	4,300,000	委託事業: 経済産業省・神奈川県
	9. その他事業	1,000,000	自主事業: 地域交流会、その他
	10. 助成金収入	2,800,000	セブンイレブン等
	11. 雑収入	30,000	
	事業収入合計(B)	31,260,000	
収入合計(A)+(B)		36,960,000	

○支出の部

経常支出の部		金額	備考欄
事業部門	(1)人件費		
	給与手当	6,000,000	通勤交通費含む
	有償ボランティア費	3,800,000	通勤交通費含む
	法定福利費	1,100,000	
	人件費合計	10,900,000	
	(2)直接経費		
	・グリーン電力事業(PV-Green)	720,000	エネ研(62)通信費等(10)
	・市民共同発電事業	1,750,000	
	・普及啓発事業	3,800,000	会報(40)、HP(55)、イベント開催・出展、商品仕入、地域交流会活動(180)、組織部活動(30)、小諸エコビレッジ(22)、相談活動(10)
	・NEDO事業	1,500,000	旅費、委員会費、外注費等
	・神奈川メンテナンス事業	2,800,000	再委託費用、広告宣伝費等
	・その他事業	950,000	電力切替事業、地域交流会活動等
	・助成活動	1,800,000	
	直接経費合計	13,320,000	
	事業費合計(a)	24,220,000	
管理部門	(1)人件費		
	給与手当	2,500,000	通勤交通費含む
	有償ボランティア費	1,500,000	通勤交通費含む
	法定福利費	340,000	
	福利厚生費	30,000	
	人件費合計	4,370,000	
	(2)その他経費		
	旅費交通費	150,000	
	会議費	600,000	総会(50)+理事会(35)
	その他経費合計	750,000	
管理費合計(b)	2,550,000		
事務所経費 (事業・管理共通)	通信費	300,000	電話代、宅急便、プロバイダー料金等
	事務用品等・備品費・修繕費	150,000	
	賃借料(リース料)	750,000	電話機、複合機、パフォーマンスチャージ料等
	地代家賃	1,663,000	家賃、倉庫使用料
	水道光熱費	128,000	
	支払手数料	373,000	顧問弁護士、顧問税理士、その他手数料等
	雑費、諸会費	100,000	東友会(1)他
	租税公課	1,560,000	都民税+消費税(99万+中間納税50万)
事務所経費合計(c)	5,024,000		
経常支出合計(C)(a+b+c)		10,144,000	
その他支出			
その他	未払金計上	923,000	てんきの森・賃借料等
	借入金返済	1,000,000	
	予備費	673,000	
その他支出合計(D)		2,596,000	
支出合計(C)+(D)		36,960,000	

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-10 湯島ビル 602

TEL : 03-5805-3577 FAX : 03-5805-3588

www.greenenergy.jp